

「KIMSA（関西学生マーケティング研究会）年次大会」の主催

経営学部 マーケティング学科 小西 一彦

活動の概要

KIMSA とは Kansai Inter Marketing Seminar Association の略（関西学生マーケティング研究会）で、昭和 40 年 10 月に設立された。関西の主だった大学のマーケティング・ゼミに学ぶ学生たちによる大学やゼミの枠を越えた研究会である。統一テーマの下、毎年、1 回、研究発表会やディベート大会、交流会&懇親会が行われている。完全に学生が主体のマーケティング研究会である。本学からは小西ゼミがこれに参加している。筆者はこの組織と昭和 45 年から関与しはじめたので、かれこれ 40 年になる。当然、小西ゼミもこの研究会の年次大会の主催を引き受けることが多かった。今回もその延長線上のものである。

まず、KIMSA の現状を説明すると、今年は次の 4 大学 6 ゼミがこの大会に参加した。追手門学院大学の小西ゼミ、関西学院大学の石原ゼミ、兵庫県立大学の池田ゼミ、同じく上瀬ゼミ、大阪市立大学の加藤ゼミ、同じく田村ゼミ、以上である。いずれも 3 回生が中心である。本会は登録制であって期間は 1 年、メンバーが毎年入れ替わる。今年は 6 ゼミ所属の 84 名が全員登録した。毎年、12 月に大会が開かれ、その場で翌年の主催校が決められる。昨年の大会で次は追手門学院大学の小西ゼミが主催すると決まった。したがって、今年は小西ゼミは大会に参加するだけでなく、研究とともに運営の方も行わなければならない。過去、一度も休んだことがない大会だけに、責任は大きい。果たして小西ゼミ 3 回生は良くこの任を全うできるか、心配はないことはなかった。しかし、ゼミ募集とシラバスにはこの KIMSA への参加は書いていて、これを前提にゼミへの所属を決めているので、このことについては誰も不満を言う人はいなかった。結果は 5 年前の主催と比べて勝るとも劣らぬ取り組みがなされて成功だった。慰労するとともに敬意を表する。

詳細な報告は別紙に譲るとして、ここでは、紙面の関係上、ごく簡単に、KIMSA の流れを紹介しておく。まず、5 月～6 月頃、上の各ゼミでは、今年の KIMSA 委員が決められる。主催校（主催ゼミ）である小西ゼミでも、自主的に手を挙げた 4 名（山口、和田、森口、室井）が皆の承認を得て KIMSA 委員に決まった。そして 4 人の互選で山口友規が代表になり、同時に、第 45 回 KIMSA 大会の委員長にも就任することになった。この後は、山口名で、大会開催のための準備会が合計で 4 回、開催されていった。他大学の学生委員の交通の便も考えて、準備会は大坂駅前第 2 ビル 4 階（キャンパスポート大阪）で開かれた。日時、場所、テーマ、ディベート対抗ゼミの組み合わせ、など、一度では決まらず、何度もゼミに持ち帰り意向調査が行われた。それを

踏まえて具体的なプログラムが決定されていった。年次大会は年末の12月13日(日)に行われることになった。その関係で日曜は茨木キャンパスはバスが出ないので大阪城スクエアでとなった。4回の開催を通じてKIMSA委員の間の結束はかなり固まった。また、14名のKIMSA委員と残りの学生(全員で84名)の間のコミュニケーションもスムーズにいったのではないかと。最近ほどの学生も携帯電話をもち、メールによる通信は、ほぼ、100%可能なので、これもかなりの威力を発揮した。ともかく、この間、私の出る幕は殆どなかった。

大会は12月13日(日)に開催された。場所は追手門学院大学大阪城スクエア6階の大ホールである。大阪城が眼前に見渡せて、天気も良く、会場としては申し分なかった、と思う。9時半から受付が始まり、10時から直ちに開始、代表の山口友規が開催挨拶を行い、順番どおり、まず、小西ゼミのグループによる研究発表が行われた。6ゼミ全体の統一テーマは「不況とマーケティング」であったが、小西ゼミでは副題として「ファースト・ファッションについて」というタイトルで発表した。事前のリハーサルは行われていたので発表自体は問題なかったが、直後の質問には準備ができてなかったのか、即答に窮してしまい、後悔が残ったのではないかと。確かに20人程度のゼミでの発表とは違って、教員(4人)社会人(5人)を含めて93人という大勢の前での発表では緊張も大きかったかもしれない。しかし、発表で得た成果は大きかったと思う。オブザーバーで参加した2回生(3人)の1人が「来年、私たちもKIMSAに参加するとしたら、今のままでは心配だ。専門の勉強をもっとしておかないと。先生、マーケティングについて、もっと教えてください。」と私に訴えた言葉が印象的だった。彼女はこの発表会に出て、相当、強い衝撃を受けたようである。多分、発表した3回生の人たちも同様な感想を得たに違いない。社会に出る前にこの種の気づきを得たことは良かったと思う。

午後はディベートが3つ行われた。小西ゼミはこれにも参加した。ディベートは研究発表以上に質疑応答の時間が長く(約1時間)、加えて先方も同じテーマで(但し、逆の立場からだが)研究を行っているので対応が難しい。テーマは「10年後、エコカーは保有率で、ガソリンカーを抜くことができるか?」である。これについて、関西学院大学の石原ゼミは「肯定側」で、追手門学院大学の小西ゼミは「否定側」で論陣を張って論戦した。両ゼミとも、出場できるのは5人ずつ。彼らは、ちょうど裁判所の検察人と弁護人のように、会場の前列両端に着席し、司会の指示に従って、立論、反対尋問、回答、再立論、最終弁論を交互に繰り返していく。ディベートは喧嘩をするのではなく、議論の分かれるテーマについて、お互いの立場を鮮明にして立論し、議論を行うことによって、幅広く知識を共有するとともに、本質への認識を深めて、妥当な判断ができるようにしていくことが目的である。これに備えて小西ゼミでは、9月17日、トヨタ自動車の「堤工場(プリウス製造工場)」の見学会を開催した。また、ネットからも、本学図書館の「データベース検索」を、とくに「新聞」と「雑誌」コーナーにアクセスして、テーマについての情報収集に努めた。お陰で立論は優勢に行えたように思える。しかし、ここでも、質疑応答の段階では、課題は

残った気がする。

3大学の教員4人とKIMSA卒業生の1名による講評の後、全員で記念写真を撮って、大会はひとまず終了した。そして、その後、5時半から8時頃まで、ほぼ、全員の参加で近くの居酒屋（「くねんぼ」）で交流会&懇親会が行われた。同期の学生と教員も大学の枠を超えての交流は1年を通じて部活以外は殆どないので、非常に刺激的で、お互いに敬意を表しあう良い機会になったのではないかと感じる。多分、この後、行われる就職活動では、ひょっとすると同じ面接会場で出会うことになるかもしれない。同じ内定を得て生涯を共にする関係になるかもしれない。そうでなくてもそれぞれこのKIMSAの大会に参加することによって得たものは多かっただろう。ゼミ内の仲間意識も高まったに違いない。一人ではとても出来ない高度な研究も、また、初めての学会的な行事も皆が力を合わせれば出来てしまう、KIMSAとはそのような研究会であるのでわれわれ教員もこれの開催を認めて協力し支援してきたのである。幸い、時代は、この方向での大学教育を評価する動きが見られるので、私としては意を強くしている。今後はさらに多くの大学の学生がこれに参加するよう呼びかけたいと考えている。また、これは何もマーケティングの分野に限られる必要はない。ほぼ、全ての分野でも、これは可能な企画であると考えている。事実、多くの大学ではこれに似た大会は開かれている。この学生による自主的な研究会の活動がもっと活発に行われていくことを期待し私からの報告とする。

第 45 回 KIMSA 大会 プログラム

日時：2009 年 12 月 13 日

会場：追手門学院大学

大阪城スクエア 6 階大ホール

主催：追手門学院大学小西ゼミ

9：30－ 受付開始

10：00－10：10 第 45 回 KIMSA 大会 開会式

挨拶：山口 友規（主催校代表）

10：00－13：15 第 1 部 統一テーマ報告 –不況とマーケティング–

（報告時間 20 分・質問時間 5 分 計 25 分）

10：10－10：35 1. 追手門学院大学（小西ゼミ）：ファストファッション

10：40－11：05 2. 大阪市立大学（加藤ゼミ）：農業の新しいビジネスモデルを展開

11：10－11：35 3. 大阪市立大学（田村ゼミ）：高級ブランドのマーケティング

11：35－11：45 休憩

11：50－12：15 4. 兵庫県立（上瀬ゼミ）：消費者の行動がどのように変わったか？

12：20－12：45 5. 関西学院大学（石原ゼミ）：不況の中で企業がどのようなことに取り組んでいるのか？

12：50－13：15 6. 兵庫県立大学（池田ゼミ）：不況時にどのような広告を出せばいいか？

13：20－13：55 昼食休憩

14：00－17：00 第 2 部 ディベート大会

14：00－15：00 1. （田村ゼミ vs 上瀬ゼミ）：ユニクロは世界一になれるか？

15：00－16：00 2. （池田ゼミ vs 加藤ゼミ）：婚活企業は今後も伸びるのか？

16：00－17：00 3. （石原ゼミ vs 小西ゼミ）：エコカーは 10 年後保有率でトップに立つことができるか？

17：00－ 第 45 回 KIMSA 大会 講評と閉会式

講評：田村先生（大阪市立大学）、加藤先生（大阪市立大学）、

池田先生（兵庫県立大学）、小西先生（追手門学院大学）

閉会の挨拶：山口（委員長）

片付けをした後、近くのレストラン「くねんぼ」で懇親会（ディベートの結果発表）

（記録：室井 一輝）

「第45回KIMS A大会」

日時：2009年12月13日（日）

会場：追手門学院大学「大阪城スクエア」6階大ホール

参加大学(ゼミ)：追手門学院大学（小西ゼミ）、関西学院大学（石原ゼミ）、兵庫県立大学（池田ゼミ）兵庫県立大学（上瀬ゼミ）、大阪市立大学（加藤ゼミ）、大阪市立大学（田村ゼミ）

①研究発表会（1, 2, 3）、②ディベート大会（4, 5, 6, 7）、③懇親会（9, 10）

